



本ばこ

ほん

—新刊教材・図書紹介—

しん かん きょうざい と しょしょうかい

JF 日本語教育スタンダード準拠の日本語コースブック
『まるごと 日本のことばと文化 入門 A1』

<かつどう><りかい>

編著者：独立行政法人国際交流基金 来嶋洋美、柴原智代、八田直美
出版社：三修社 (https://www.sanshusha.co.jp/np/index.do)

発行年月：<かつどう><りかい> 2013年10月
ISBN：<かつどう> 978-4-384-05752-9 C0081、<りかい> 978-4-384-05753-9 C0081

判型・頁数・定価：<かつどう> A4判 146頁 1,500円(税別)、<りかい> A4判 198頁 1,700円(税別)

公式ホームページ：http://marugoto.org/



▽生き生きとした授業に

教室活動の特徴としては音声教材が多用されていることがあります。<かつどう>は類似した流れを持つ4つの会話を何度も聞いてからペアで会話練習。また<りかい>は文型練習に会話の聴解を取り入れたり、答え合わせに音声を使ったりします。本書の会話は場面や登場人物の設定がおもしろく、演技や楽しい背景音楽などを取り入れて聞きやすく作られています。専用のウェブサイト*からすべての会話音声教材を無料でダウンロードできるのもうれしい点です。

音声教材のほか、教師用リソースも提供されています。さらに、学習支援サイトも充実。日本語と日本文化を学ぶ楽しさを「まるごと」感じられるこの新しい教科書で、これからの日本語の授業をさらに生き生きとしたものにしてください。

*『まるごと 日本のことばと文化』公式ホームページ <http://marugoto.org/>
関連サイトへのリンクもあります



本書は、国際交流基金が相互理解のための日本語を理念として開発したJF日本語教育スタンダード(以下、JFスタンダード)準拠の日本語コースブックです。特に海外の成人学習者にとっての使いやすさを視野に入れて、会話場面の設定や内容、構成に様々な工夫がなされています。「入門A1」はJFスタンダードのレベル設定の中でいちばんやさしいレベル。けれども、1時間目の授業からシンプルでも役に立つ、楽しい日本語学習を展開します。さらに、ことばと文化は切り離さずにいっしょに学ぶという考えから、異文化理解の視点を取り入れていることも本書の特徴です。日本の生活文化を通して自文化や自分自身をふり返り、クラスメイトと話し合います。全員フルカラーの写真やイラストはことばと文化の学習を効果的に導くことでしよう。

▽<かつどう>と<りかい>

本書は<かつどう>と<りかい>の2冊があります。<かつどう>は日本語を運用して行うコミュニケーション言語活動(Can-do)ができるようになることを、<りかい>は言語能力(文字、語彙、文法、文型などの言語知識)を養うことを学習目標にしています。両書はトピックや会話場面が共通しているので、学習ニーズに合わせて、単独使用のみならず併用することも可能です。

課の構成は以下のようになっています。

<かつどう>	<りかい>
①トピックと学習目標(Can-do)の確認	①トピックと学習目標(基本文)の確認
②聞いて言いましょう 語彙と場面の導入	②勉強する前に 課の内容を導入するための質問
③聞きましょう 会話モデルとそのバリエーションの聴解(内容とともによく使われる表現に気づくことが大切)	③文字とことば 文字と語彙の練習
④ペアで話しましょう モデル会話の流れに沿って自分のことを話す	④会話と文法 モデル会話提示、文の構造説明、文脈化された文法と文型の練習
⑤読みましょう/⑥書きましょう 現実のコミュニケーションに役立つ簡単なタスク	⑤読解 トピックに関連した短文のコミュニケーション的な読み
⑦生活と文化 日本の生活や文化について写真を通して知り、クラスで話し合う	⑥作文 トピックに関連した短いモデル文をなぞりがきしてから、部分的に自分のことばに置きかえて書く
⑧Can-doチェック その日の学習を3段階で自己評価	⑦日本語チェック その日の学習を3段階で自己評価

このコーナーの担当者：来嶋 洋美 / 日本語国際センター専任講師